

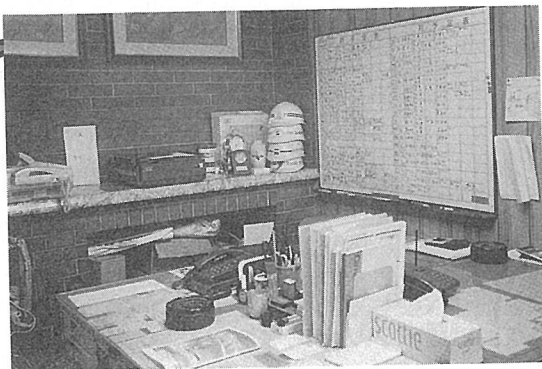
こんにちは

会社訪問記

建築廃材の有効利用を心掛けて掛けて全力疾走中。

有限会社渡辺

(名古屋市中川区)



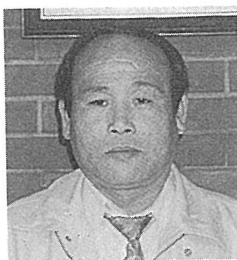
社内

名古屋市南西部、道路の喧騒から通りひとつ隔てた住宅地に立地。堅実に業績を伸ばし続けている、有限会社渡辺。経営モットーは“全力に悔いなし”。渡辺社長に静かに丁寧に、仕事に対する熱意を語っていただきました。

——最初に業務内容を教えてくださいいただけますか。

渡辺社長（以下渡辺に略）

『主な業務内容は木材住宅の解体工事です。産業廃棄物の業務としては、建築廃材の収集運搬を行っています。もともと解体業をしていたのですが、解体時に出てく



渡辺社長

る廃材の処理も出来たほうが事業として効率がよいと思い、愛知県と名古屋市の許可を取りました。産業廃棄物処理業に限っていえば、建築廃材専門ですね。大半が木材です。木材は、チップや燃料として再利用できますから、可能な限りリサイクルにまわします。資源の有効利用というのが、今一番重要だと思います。それが果たされて、はじめて適正処理ができると言えるんじゃないかと。』

——まったくですね。ところで、業務を行う上でどのような理念をお持ちですか。

渡辺『理念という程のものではないのですが、何事も常に全力を尽くす、それだけです。“全力に悔いなし”という言葉に心を留めていつも仕事をするようにしています。一生懸命やれば何とかなる。逆に言えば、一生懸命にやらないと誰もついてこないし何も残っていかないと思うんです。それと、他の人に迷惑をかけない。これも絶対に守るべきことですね。一軒の家を壊すのは大変なこととして、塵が飛んだり騒音が出たりします。現場では周囲の方々に迷惑をかけないように気配りを忘れず、工事のご挨拶とお願いを必ずするようにしています。何事も人との接し方が、大切だと思います。あとは、正しいプロ意識を持つ事ですね。プロ

の仕事をしっかりしていれば、事故もトラブルも起きない。自覚を持って、当たり前のことを怠らずに、しっかりと行こうと。解体工事業の現場から、裸一貫でやってまいりましたので、どこか職人気質があるんですね。だからどちらかという理屈を言うよりも、まず行動で示そう、ということです。』

——力強いご意見ですね。では最後に社員構成と今後の展望をお聞かせください。

渡辺『現在、社員は15名ほどいます。これは、営業・運搬・現場の合計の人数です。もちろん私も、小さな会社ですからどの役割も果たすようにしています。みんなで作って行こう、ということですね。大手さんに比べて、小回りが効く、というのが良いところなのかな。お客さまには、そんな風に結構重宝がられていますね。今後、と言いましても、例えば業務内容の拡大などは、考えていません。解体工事業と、そこからする廃材の収集運搬を、一生懸命やって行く、それだけでもまだまだ勉強しなくてはならん、そう思ってます。』奥様とともに手を取り合って、夫唱婦隨、力を合わせて事業をこなしてらっしゃる、アットホームな会社。社長の照れながらも、質問に一生懸命答えてくださる姿がとても印象的でした。



社名/有限会社渡辺 所在地/名古屋市中川区小本町二丁目八番地
代表者/渡辺栄次郎 創業/昭和49年 従業員/15名
TEL/052(361)4632 事業所/本社 事業内容/建築解体工事業
営業種別/収集運搬 取扱い品目/廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材